



# 奈良県感染症情報

平成 29 年 第 15 週( 4 月 10 日～ 4 月 16 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	5.12	(4.65)	↗	↗	↗	↑
2	インフルエンザ	2.07	(2.06)	↘	↘	↘	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	1.79	(2.00)	↘	→	↘	↓
4	RS ウイルス感染症	1.06	(0.88)	↑	↘	↑	→
5	咽頭結膜熱	0.68	(0.88)	↗	↗	→	↑↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

## ◆ 県内概況 ◆

感染性胃腸炎が、徐々に増加しています。この時期に流行するとされるロタウイルスによる胃腸炎が増加しているとみられます。ロタウイルスは主に乳幼児が感染する胃腸炎で、初めてかかったときに最も症状が重く、入院が必要になることもあります。ワクチン接種(飲むワクチン)により、入院するような重症化を防ぐことから、接種する方も増えてきています。保健研究センターの検査では、これまでとは異なる遺伝子型(ロタウイルス G2)のウイルスを昨年引き続き検出しており、この遺伝子型のウイルスは、成人患者からも検出しています。患者便には、多量にウイルスが排泄されていますので、おむつ交換後やトイレの後には、丁寧な手洗いを心がけてください。

## ❖❖ ゴールデンウィークに海外へ渡航される方へ～感染症にご注意ください～❖❖

海外では、日本にはない病気がたくさんあります。海外旅行では、時差や気候の違いなどから、(自覚してなくても)様々なストレスを受けます。この結果、免疫力が低下し、病気にかかりやすくなってしまいます。無理のないスケジュールを心がけ、避けられる危険を避け、楽しい旅行にしましょう。

### 🌿 現地で気をつけること

✓ 蚊・ダニに刺されないように、服装に注意し、**虫よけ剤**を使うなどしましょう。

(デング熱輸入症例の渡航先は、インドネシア(バリ島等)、フィリピン(セブ島等)が多い。)

✓ 中東へ旅行する方は**ラクダとの接触**や**無殺菌のラクダ乳の摂取は避けましょう**。

✓ 動物は狂犬病、MERS や鳥インフルエンザなどのウイルスをもっていることがあるので、むやみに触らないようにしましょう。

### 🌿 出発前に確認しましょう→厚生労働省検疫所 [海外旅行者のための感染症情報\(検疫所 FORTH\)](http://www.forth.go.jp/)

✓ 渡航先で流行している感染症について

✓ 渡航先で具合が悪くなったときのために、医療機関情報について

### 🌿 帰国時・帰国後に具合が悪くなったら

✓ 帰国後に症状が出た方は、蚊に刺されないように注意し、病院受診の際に渡航歴を必ず話してください。受診方法で分からないときには検疫所または保健所にご相談ください。

参考: [厚生労働省検疫所 \(検疫所 FORTH\)](http://www.forth.go.jp/) <http://www.forth.go.jp/index.html>



❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H29 ▲ H28 □ H27 〰 過去10年平均

